

妖しい人身売買の  
噂がある組織の  
調査依頼を受けた  
七瀬サキ

日本人離れした  
スタイル

すでに薬によって  
鋭敏に開発された  
その感度

しかし  
その組織にいたのは  
人智を超えた力を持つ  
「妖魔」だった

百選錬磨の女探偵も  
未知の妖術には  
なすすべもなく  
捕らえられてしまう

そして  
その精神力

極上の  
性奴隷になる  
要素がすべて  
備わっているな



隙を見て  
逃げようと  
考えてるのかも  
しれないが

バツ

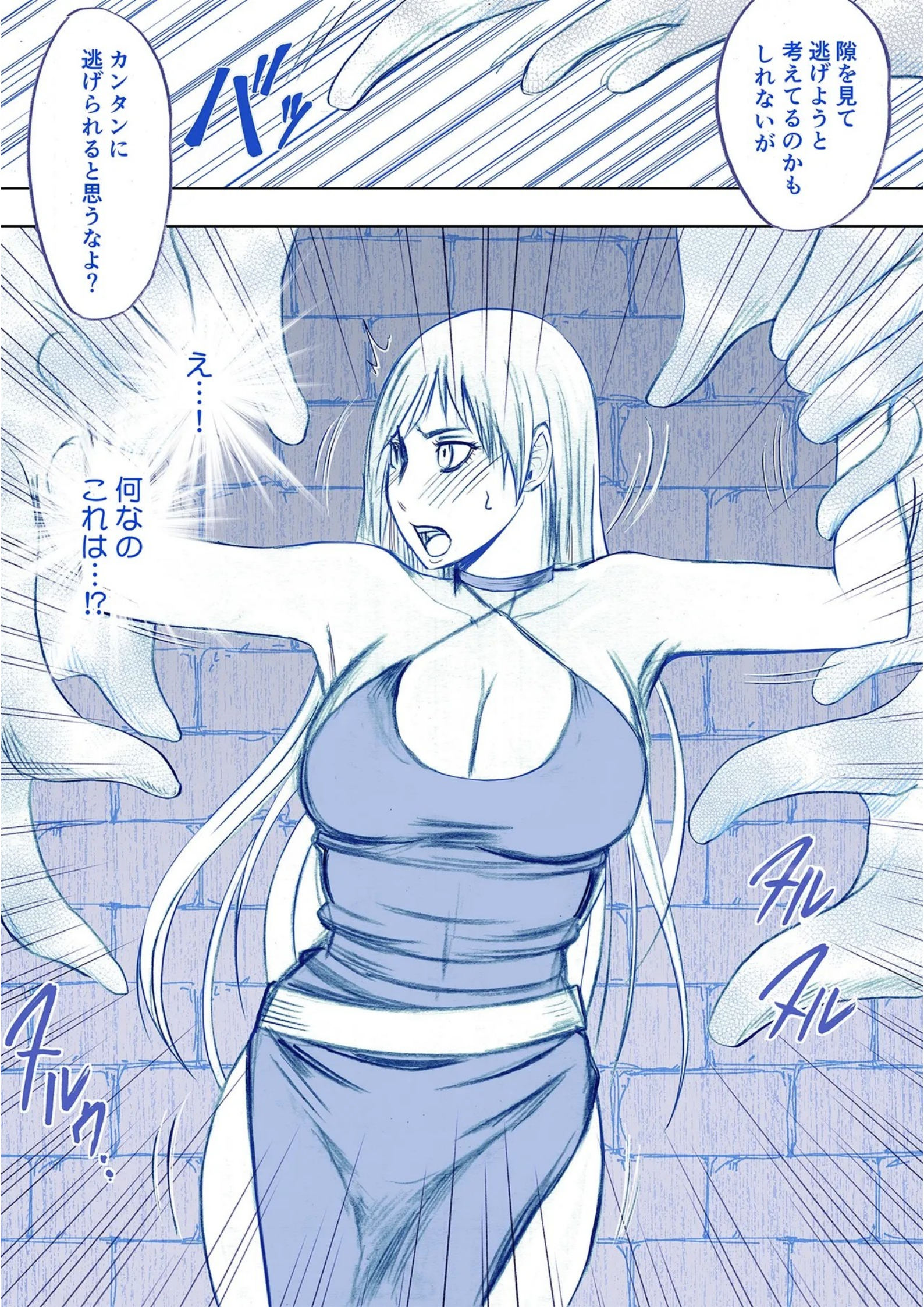
カンタンに  
逃げられると思うなよ?

え…!

何なの  
これは…!?

フル  
フル

フル



得体の知れない  
力を持つていると  
聞いてはいたけど……!

感度も  
確かに良さそうだ

この状況で  
いきなり乳首を  
触られて  
この反応

これは  
このまま  
さらなる調教を  
重ねれば

まさかこんな……

W  
〜

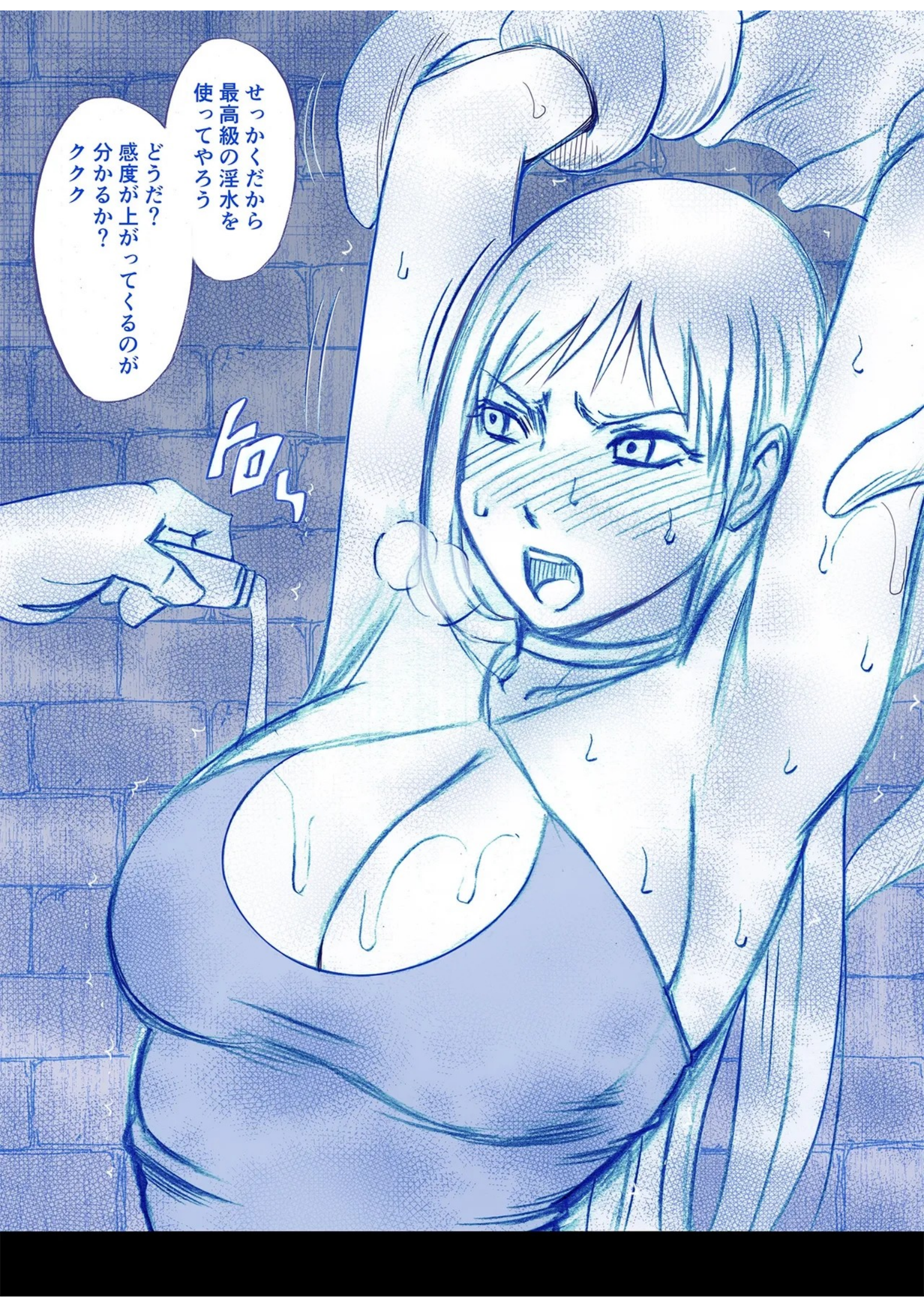
完璧に  
淫乱な性奴隷に  
なりそうだな



せっかくだから  
最高級の淫水を  
使ってやろう

どうだ？  
感度が上がってくるのが  
分かるか？  
ククク

コッ



くそ…!!  
こんなの…!!

絶対に  
反応したりはしない!

トロト

もともと  
敏感なカラダとの  
相乗効果で  
とんでもない感度  
になるんじゃないか?

どんなふう  
に悶えるか  
楽しみだな

トロ

ブル

ブル

ブル

ブル

ブル

普通の女なら  
もうこのあたりで  
快感が欲しくて欲しくて  
たまらなくなってる  
はずなんだが

まじっ…!!

カラダが明らかに  
おかしくなってる…!!

今…刺激を受けたら…!!

そろそろ反応を  
確かめてみようか

この瞬間が  
いつも楽しみなんだ

淫水で性感を  
育てた乳首を  
触れたときの反応…

アア…



ああ……ざっぱり！

おお？  
どうした？

かわいい声  
が出たぞ？

普段はクールだが  
喘ぎ声は意外と  
かわいいじゃないか

明らかにおかしくなってるのは  
思ってたけど……！

まあかこんなの……！

もうイキそうか？  
ククク





イク!

ダメだ……!

ムムムム

ムムムム

イッたか  
ククク

どれほどの  
精神力をもっている  
淫水の快感には  
勝てまい

んん……!

何なんだこれは……!?!

どんなに抗う  
心があったとしても  
こうやって  
触れられると



カラダは  
無理矢理  
絶頂をむかえさせられる

ホントにガマンできない！

無理矢理イカされる！

人間の女のカラダは  
そういうもの  
だからな



素晴らしい！

これはいい  
肉奴隷になりそうだ

あたしのカラダは  
ただでさえ敏感なのに！





ダメだ!

クッ

クッ

クッ

クッ

クッ

クッ

フケがわからなくな〜ン〜ン  
イカさされてる!

Wow!!  
まさか本当に人間じゃない!

メリハリの利いた  
美しい肉体に

ここまでされて  
まだあきらめてない  
美しい精神

最高級の  
肉奴隷に  
しあがりそうだ

本物の...!



やろ

やろ

やろ

やろ

やろ

だとしても...  
まじで出てくることも出来ない!

このままじゃ...!

ほら  
またイカせてやろう

自分の快感を  
他人に管理される  
気分はどうだ?





女体を狂わせる  
未知の物質「淫水」  
その効果は絶大で

胸だけしか  
責められていないのに  
ほんの数分  
塗りたくられるだけで

カラダだけでなく  
ココロまで陥落  
しそうに追い込まれ…

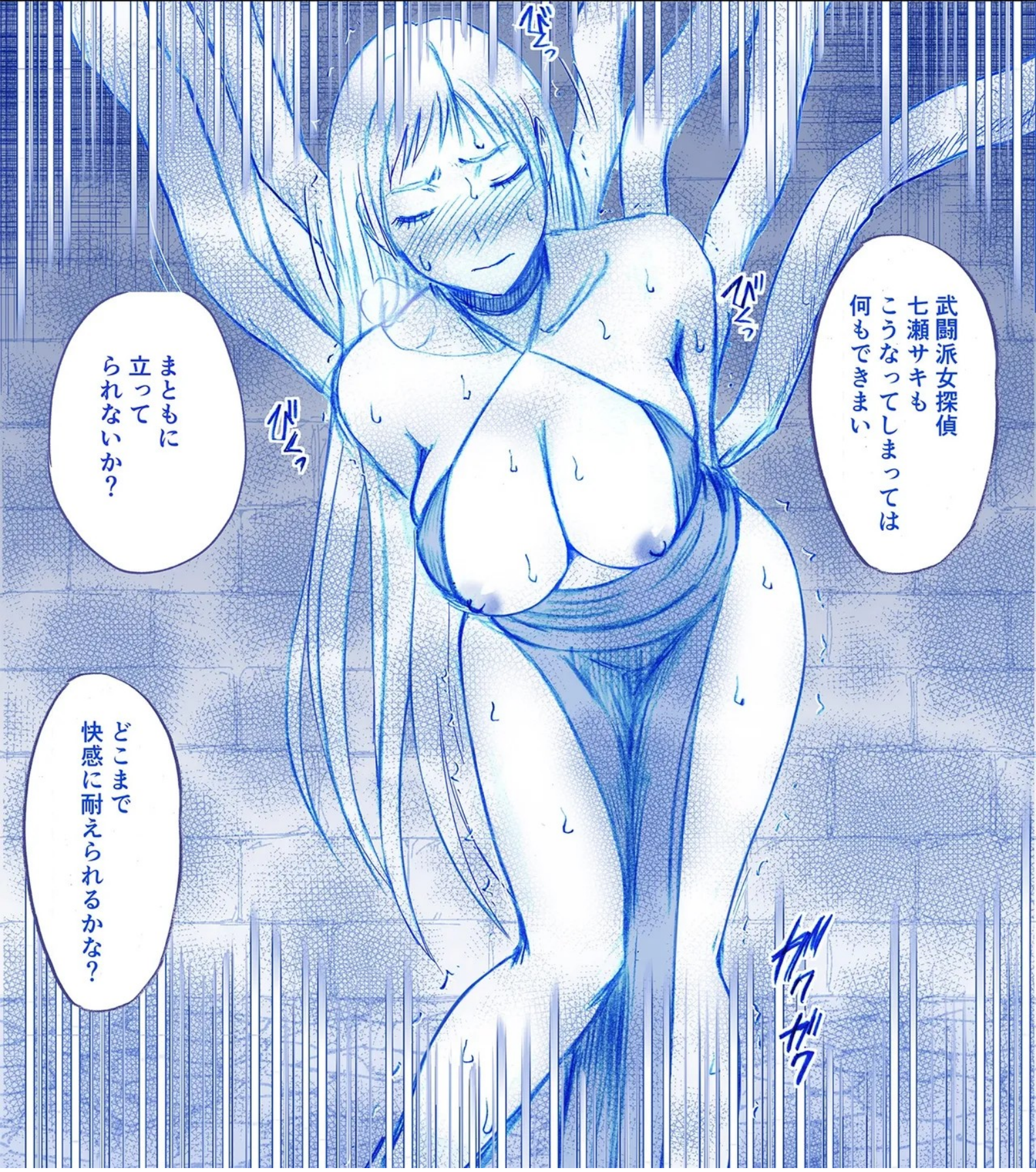
フフフ…

そろそろ体中に  
淫水の効果が  
出てき始めている  
はずだ

武闘派女探偵  
七瀬サキも  
こうなってしまうては  
何もできない

まともな  
立って  
られないか？

どこまで  
快感に耐えられるかな？



何度も乳首で  
イカせて  
カラダに覚えこませて  
やろう

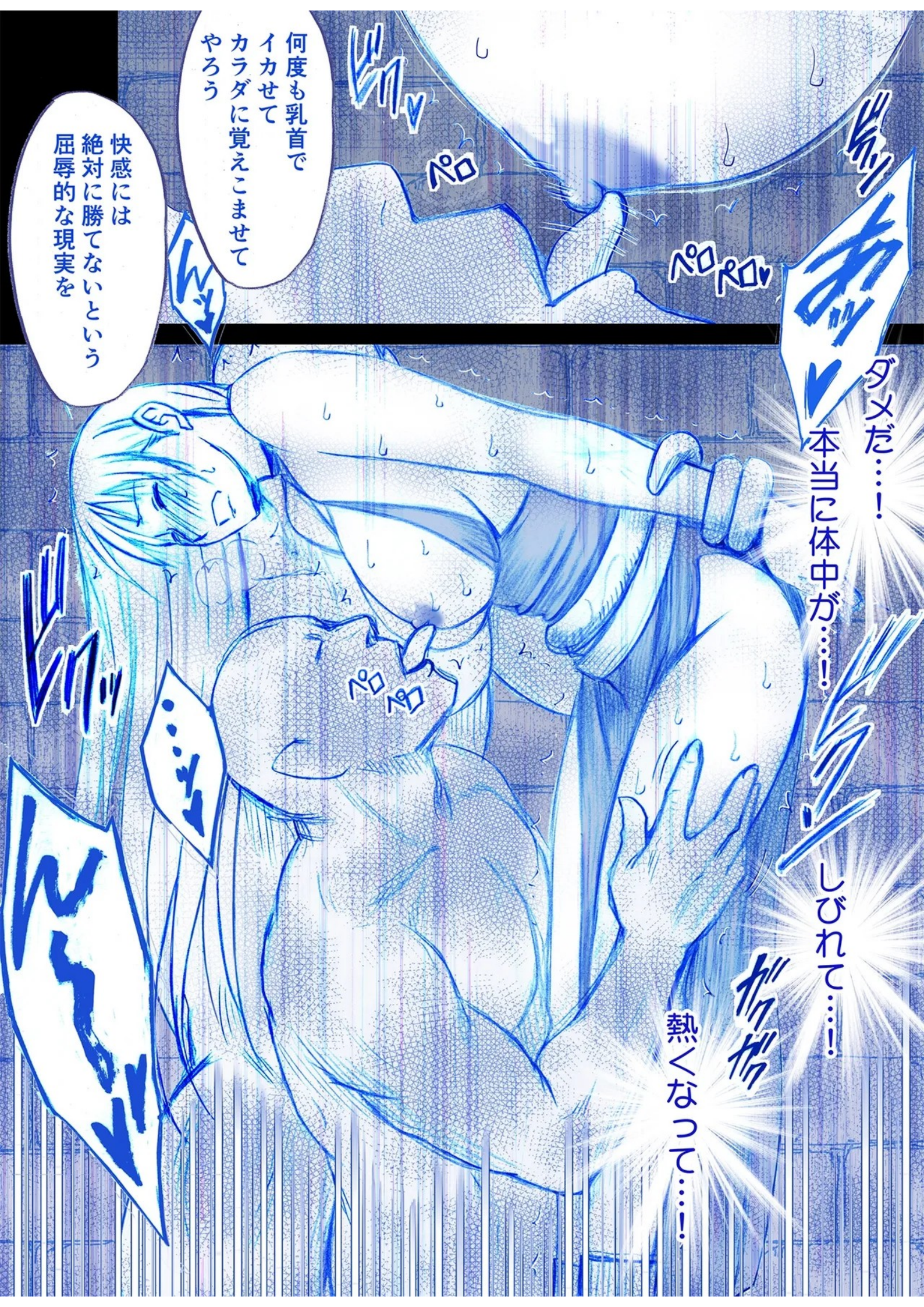
快感には  
絶対に勝てないという  
屈辱的な現実を

ダメだ…!  
本当に体中が…!

しびれて…!

熱くなつて…!

ガクガク





本当に...

何もできない!

自分のカラダじゃない  
みたいになって...!

あーあーあーあーあー

あーあーあーあーあー

あーあーあーあーあー

あーあーあーあーあー

乳首の開発は  
これでもう  
充分か

乳首だけでなく  
こっちも開発してやろう

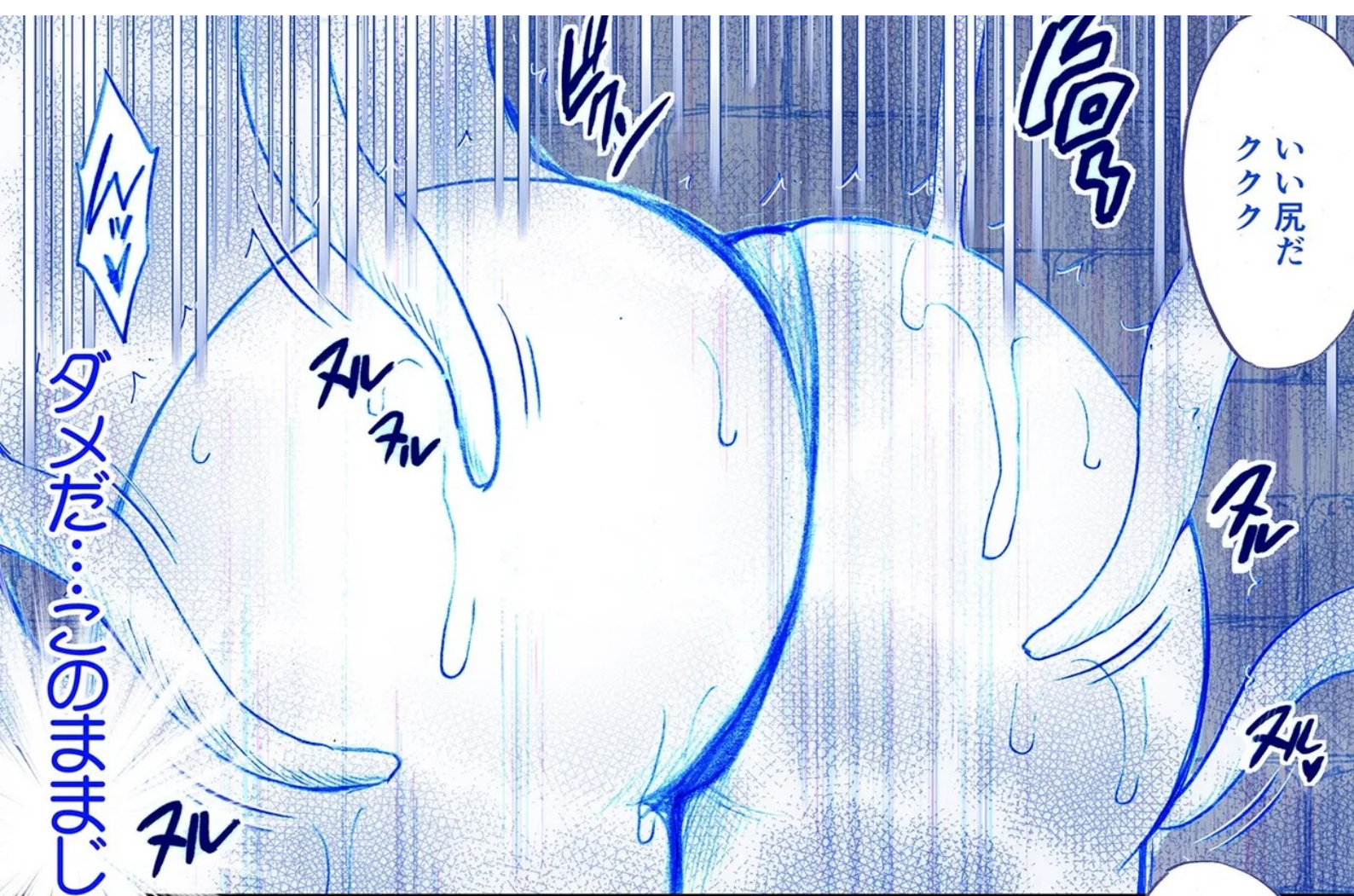
トク

ガク

くそ……！今度は何だ……！？

国外の顧客には  
むしろ尻好きのほうが  
多いからな





いい尻だ  
ククク

ダメだ...このままじゃ体中が...!!

これは  
変態の金持ちどもが  
食いつくぞ



このキレイな尻を  
淫水まみれにして

誰が触れても  
ビクビク反応するほど  
感度を何倍にも上げてやろう



よし  
尻の改造も  
完了だ

残るマンコは  
男根で直接  
調教してやろう

はあ

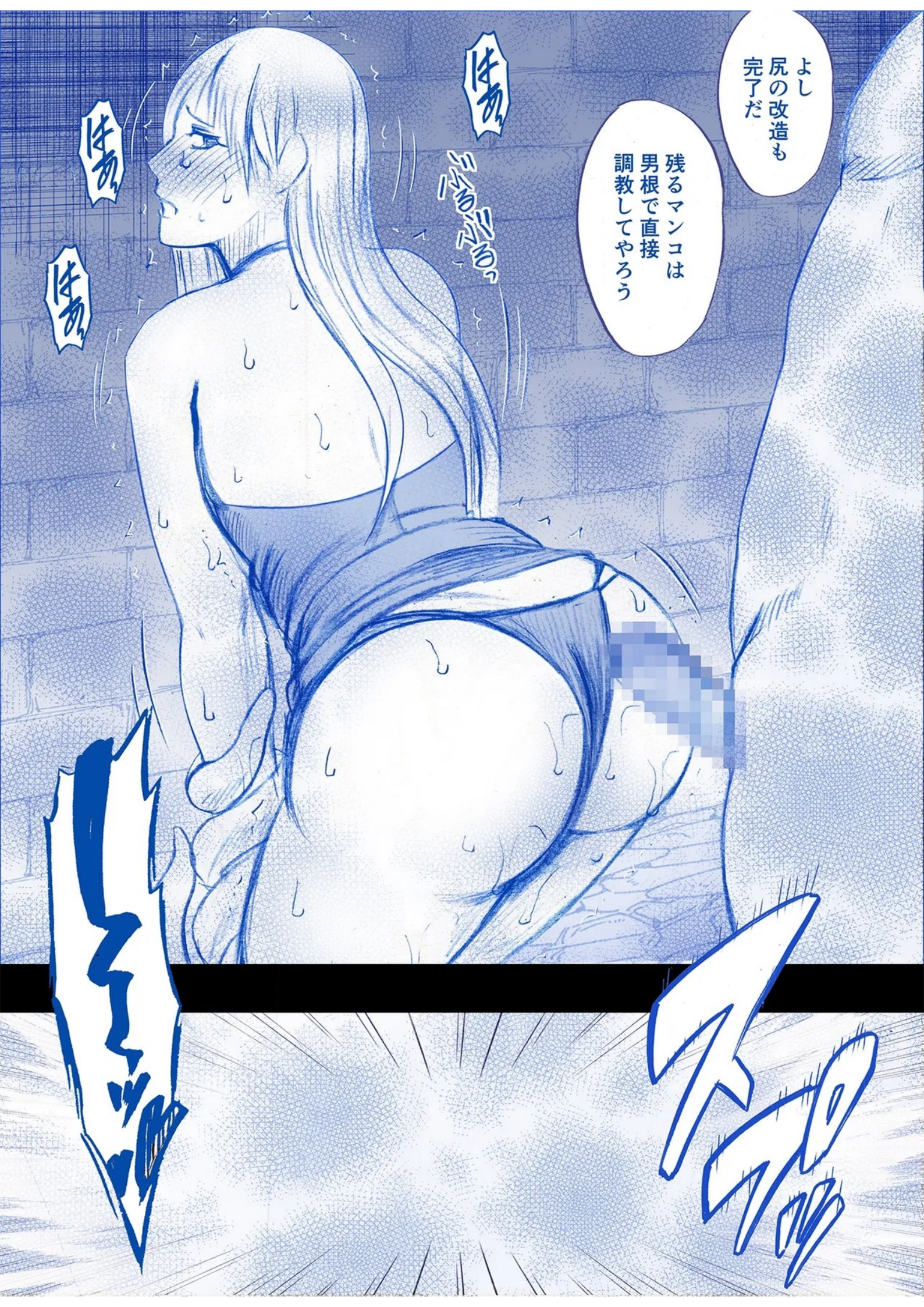
ハッハッハッ

はあ

はあ

はあ

はあ





ほら  
頑張って抵抗してみろ

抵抗…したいけど…!!

中に出されたら  
タイヘンなこと  
になるぞ  
ククク

お前を狂わせた  
この淫水は

ももとは  
私の体液だからな

こんなになられたら…!!

ム…！

私の精液を  
出されたら  
膈内に  
刻印が刻まれる

そうになったら  
私の命令に  
逆らえない  
カラダになるんだ  
ククク

抵抗なんて…せつ…！！



出来るわけがない!

さあ  
頑張って抵抗  
しろよ

いいのか  
命令に従順な  
完全な  
肉奴隷になって  
しまうぞ？

お前のカラダは  
素晴らしい

欲しがる変態どもが  
多そうで  
かなりの大金が  
動くだろうな

もう抵抗ごころか…

意識をたもつだけで  
精一杯で…!!

私が楽しんだ後は  
しっかり稼いできて  
もらおうか





ダメだ…!!

おじいちゃん…!!

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ああ…  
頭の中に何か  
入ってくる!

意識が  
持っていられる!

もしかして  
本当に命令に  
逆らえなくされたのか!?

ククク  
完成だ

これで  
お前は私の命令に  
逆らえない

試してみようか

「足を開け」



うそ...!!

本当に!

足が勝手に!

ムムムム...

ムムムム...



ククク  
いい子だ

ちゃんとして  
命令を聞いているな

だがまだすこし  
カラダが抵抗しようとして  
しているな

足が閉じられなくて……!!

ズ  
ズ  
ズ

あ  
あ  
あ

ズ  
ズ  
ズ

ズ  
ズ  
ズ

ズ  
ズ  
ズ

ズ



もう一度  
ナカに出してやろう

これでもっともっと  
命令に逆らえない  
カラダになるぞ



そこから  
3時間

さらに淫水を  
体中のすみずみまで  
塗りこまれて

どこを触っても  
イカされるほど  
改造されて…

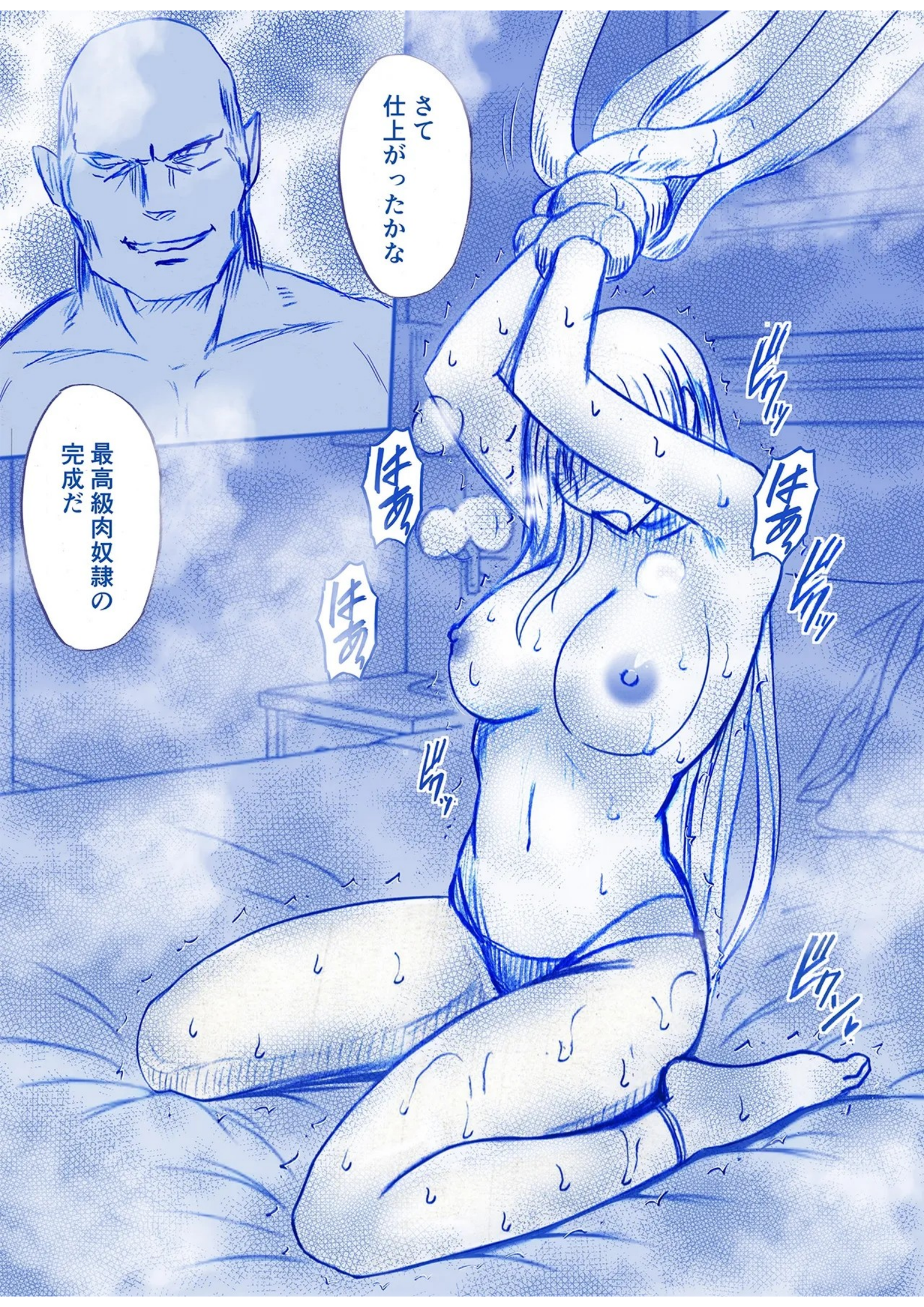


もともとの  
薬の副作用による  
敏感体質との相乗効果で  
ありえないほどの  
感度に到達して：





最終的には  
触手でひと撫でされるたびに  
頭が真っ白になるほど  
調教されてしまった



さて  
仕上がったかな

最高級肉奴隷の  
完成だ

はぁ

はぁ

はぁ

ん

ん

ん

これは  
凄い感度に  
なっているな

カラダは  
抵抗できないが  
精神はまだ  
あきらめていない

いいぞいいぞ…  
そういう女を  
欲しがる男が  
たくさんいるからな  
ククク



ああ…  
こんなものを  
擦りつけられるだけでイクなんて！

屈辱的すぎるー



命令もしてみるか

ほら  
私の男根を  
舐めてみる

ああ…カラダが勝手に…!!

こんな絶対にやりたくない行為を…!!




頭の中ではこんな抵抗！ムネのムネー！

口の中も  
感じるだろう？

自分の意志で  
男根を舐めながら  
イカされそうになって  
悔しいか？

ムネのムネー！





本当は抵抗したいのに  
男を奉仕する行為を  
やめられない  
気高い女の顔は  
最高に興奮するな



乳首も乳房も  
快感でパンパンに  
膨れ上がってるじゃないか

ダメだ…せつ…!

命令に逆らうんじゃない

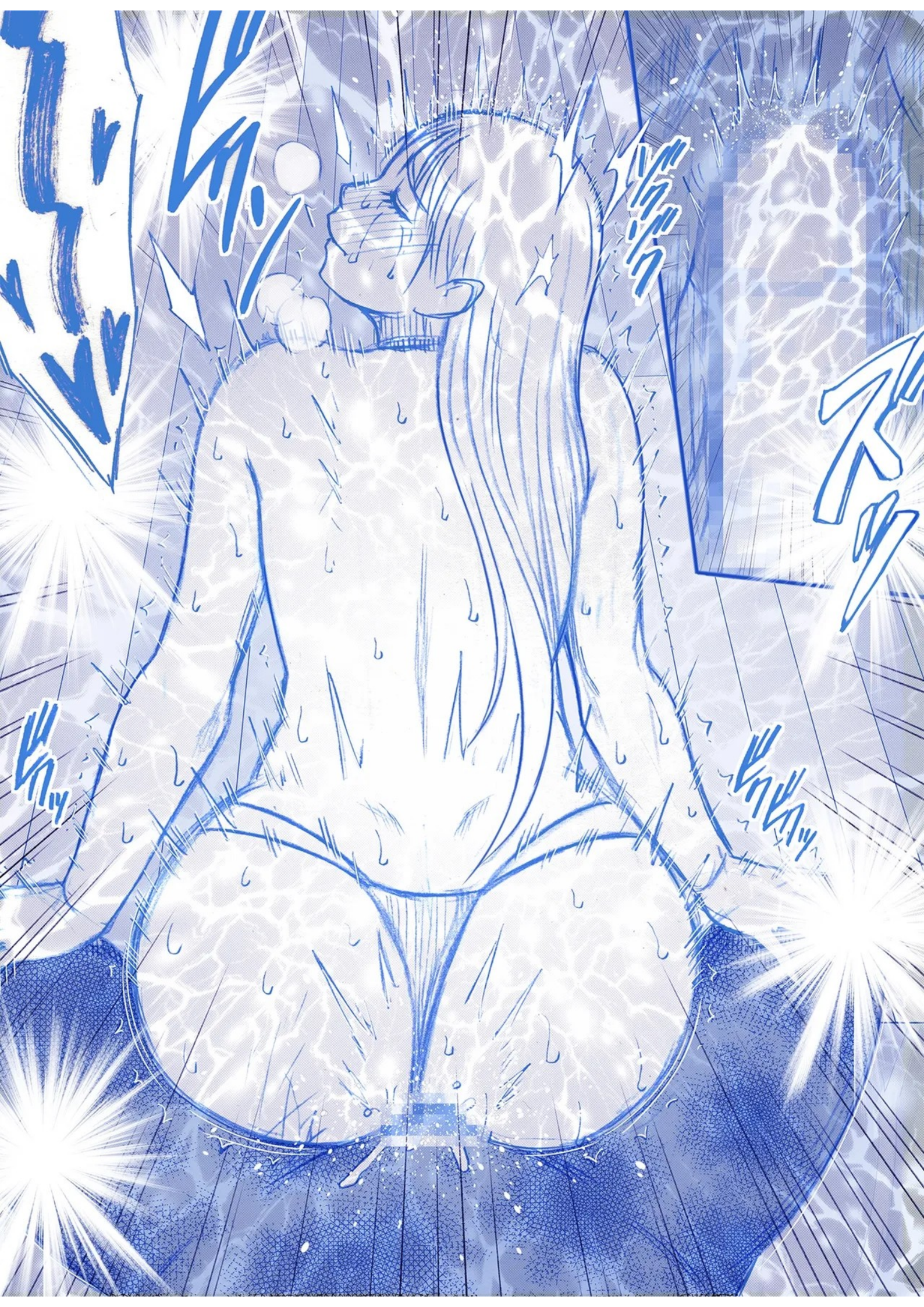
イククのを我慢せよ

何も出来ない!



よし  
そのまま  
腰掛けて  
自分で入れてみる





あッあッ

手は頭の上だ  
足も開け

そうだそれでいい

その恥ずかしいポーズのまま  
イッてみる





あー!  
激しすぎてるー!

頭があかしくなりそう!






サキ

起きろ  
七瀬サキ  
出番だぞ

早速お前の体の  
購入者が現れたぞ

しっかり  
稼いできて  
もらおうか



淫水によって  
敏感にされ  
呪いの首輪によって  
命令に逆らうことが  
できなくなった体で

七瀬サキが  
向かった先は

とある  
電車の中だった

そこは  
一般客も  
大勢乗っている  
普通の電車

鉄柱に  
手錠で拘束され  
待つこと数分

依頼主らしき  
男が現れた

ふふふ…  
君がサキちゃんだね

何なんだ  
この男は

いいね  
理想的な体だ

見たことがあるぞ

こいつ…  
確か…政治家の!

がが

がが

ちやんと  
敏感になってる  
じゃないか

痴漢をされても  
しつかりと感じる体に  
仕上がってるねえ

僕はこういう  
強くて気高い女性を  
電車の中で痴漢するのが  
たまらなく  
好きなんだよ

ダメだ！

敏感すぎて  
全然我慢できない！

こういう  
プレイじゃないと  
興奮しないんだよ



ふふふ  
最高だね

こんな理想的な  
シチュエーションで

こんな美女を  
犯せるなんて

高い金を  
払った甲斐が  
あるね

最後まで  
たっぷり  
楽しませてもらうよ





いいね

君は  
本当にいい

この嫌がってるのに  
感じてるところが  
たまらない

さすが  
最高ランクの商品

ちゃんと抵抗する  
意思を残したまま  
仕上げてきてるねえ





くそっ！

権力者たちが  
妖魔と裏で  
繋がっていると  
いうのか！

こんな！

こんな奴らの  
思い通りに  
なるなんて！

ダメだ！

本当に最高だよ

君は  
今まで買ってきた  
商品の中でも  
最高クラスだ

こんなに  
屈辱的な状況で  
完全に  
追い込まれてるのに  
最後まで諦めてない

抵抗しようとしても  
動きが制限されて  
何もできない！

その感じ  
勃起が止まらないよ

ガク  
ガク

ガク

そろそろ  
フィニッシュしようか

諦めない！

絶対に諦めない！



